

生産をサポート

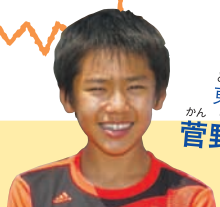


JA常総ひかり 営農部長・大山 正巳さんと



梨の果樹園を見学。オーナーの草間 勝美さん(八千代地区梨部会長)に取材し、もぎとり体験もしました!

ヒミツは
肥料に有り!



東京都 6年
菅野 貴之くん

僕の住む東京のスーパーにも、茨城県産の青果物がたくさん並んでいます。数多くの青果物を効率よく安定して作ることができる秘訣? それは「健康な土作り」をするための肥料にあります。肥料の倉庫を見学すると、そこには「白菜専用」「レタス専用」など、それぞれの野菜や果物に適した専用の肥料があり、その種類の多さに驚きました。



前回、伊勢原市のスーパーで見つけた「惚れ」マーク発見! 茨城県産の印だよ

全国の消費者に届けるまでにさまざまなステップがあります。一人一人の農家が、これらすべての作業を行うのは難しいですが、みんなの力を合わせれば可能になります。



農家の方と情報交換

梨の木にかけてあるネットは、大人が少ししゃがんだくらいの高さです。それを見た久富くんは、「ずつと腰を曲げて仕事をしている人たちはとても疲れるだろうなあと、思いました」と話していました。



東京都 4年
久富 祐輝くん

これまで僕は、ナシは全部はさみで切るのがと思っていました。農家さんに聞くと、実際はナシを軽く持つて上に押し上げるだけでした。「えっ、こんなに簡単にとれるの?」僕はとても驚き、「つだけもかせてもらいました」「こんな方法があるなんて、やっぱり専門の人はよく知っているなあ」と農家さんを尊敬しました。もぎたてのナシは、みずみずしくおいしかったです。



あざやかな水田の緑が遠くまで広がっていました

JAグループ
秋の大収穫祭
実施中!

実りの秋、JAのファーマーズマーケット・農業祭には、旬のおいしいものがいっぱいだよ。

秋の大収穫祭の期間中、全国のJAファーマーズマーケットで、JAの魅力がたくさん詰まった「フレマルシェ増刊号」を配布しているよ! クロスワードパズルにチャレンジして、全国のお米をもらっちゃおう!

くわしくは
JAきずな 検索

実施期間: 2014年9月12日(金) ~ 11月30日(日)

農家とJAで より良い農畜産物を作る

4回シリーズ



この野菜、知ってるかな? 冬瓜だよ



インタビュー中、とれたての梨をいただきました!

ると、たくさんの肥料が保管されていた。それらが、それぞれの農作物に合うように、JAがきめ細かくアドバイスしていることに2人のリポーターは驚いていました。

バスケットボールをしているという菅野くんは、「母が僕の運動量にあわせて、食事メニューを考えてくれているのと似ているなと思いました」と話していました。

必要物を共同で購入

とりには農業や農業用の道具などが販売されている「グリーンセンター」がありました。JAセンターが、ありとあらゆる個人で直接買うより安かったり、手に入りやすい物が買えたりします。ここでも農家の方々がサポートしているのが分かりました。



たくさんの種類の肥料や段ボールなどが山積みになっていました

JAには、こういった農業に直接関わる事業だけでなく、農家のくらし全体をサポートするいろいろなお店やサービスがあります。次回はそれらを紹介します。



農作業用の帽子を試着。似合う?

その後、梨の果樹園を見学。ここで収穫された梨は、すべてJAの選果場に持って行き、そこからあちこちに出荷されるそうです。「自分たちの力だけではできないことなので、JAがあつて助かっている」とオーナーさんに聞きました。

全国有数の
梨の産地を見学

野菜出荷所を訪ねると、ちょうど冬瓜が出荷されるところでした。大きなトラックにたくさんの段ボールが積み込まれていました。その様子を目の当たりにして、大変な重労働だということが分かりました。

技術力、生産力を
あげる取り組み

JAでは農家の方々に、農産物の収穫量を多くしたり、品質を高めたりするために、さまざまなアドバイスをしています。肥料の管理や、病害虫対策、どんな農産物が消費者に求められているかなど、幅広く情報提供しています。

大山さんは「みんな病気になったら病院に行くでしょう。それと同じで、農作物が病気になったら、私たちが医者さんみたいに解決策を提案するんですよ」と、分かりやすく説明してくれました。

肥料の種類にビックリ

JAの「営農センター」を見学す

そのほか、野菜や果物別の段ボール箱、メロンを包む発泡スチロールの網など、農産物の出荷に必要な物がたくさん並べられていました。